

平成26年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」結果一覧

練馬区立大泉学園中学校

◆学力調査の結果

教科	A 教科の内容											B 読み解く力に関する内容									
	関心・意欲・態度		思考・判断・表現 話す・聞く		技能 書く		知識・理解 言語		読心		合計		取り出す力		読み取る力		解決する力		合計		
	学年	東京都	学年	東京都	学年	東京都	学年	東京都	学年	東京都	学年	東京都	学年	東京都	学年	東京都	学年	東京都	学年	東京都	
国語	41.1%	46.8%	64.4%	64.1%	47.4%	48.2%	58.9%	66.0%	66.0%	68.8%	57.4%	61.6%	37.8%	40.9%	60.0%	59.5%	65.6%	61.5%	50.3%	50.7%	
社会	82.2%	88.1%	50.6%	49.5%	67.1%	69.2%	58.7%	57.4%			60.4%	60.4%	54.2%	55.9%	38.9%	39.0%	45.6%	45.2%	46.2%	46.7%	
数学	85.6%	84.1%	26.8%	28.9%	49.0%	54.9%	63.7%	67.9%			52.8%	56.9%	75.0%	75.1%	32.5%	39.3%	11.7%	11.7%	39.7%	42.0%	
理科	82.5%	84.3%	43.8%	46.5%	46.2%	51.7%	50.4%	54.3%			50.8%	54.4%	49.2%	56.2%	33.3%	38.6%	36.4%	38.0%	39.6%	44.2%	
英語	69.7%	73.5%	34.4%	37.4%	57.5%	57.8%	61.5%	69.0%			58.3%	62.3%	31.7%	35.5%	21.9%	22.3%	18.6%	19.1%	24.1%	25.6%	

◆教科等の合計正答率（A，B）と分析・改善策

	学年	東京都	分析（身につけている力・課題等）	改善策・取り組み
国語	56.3%	60.1%	・「話す聞く」の中で、内容は理解できており、内容確認の問題の正答率は高かった。しかし、必要に応じた次の質問を類推する問題の正答率は低かった。	・日頃から、聞く力はもちろんのこと、そこから説得力のある発言を促したり、書いたりすることで言語的理解力を深めていく。
社会	57.6%	57.7%	・最近学習した内容については、地理的分野・歴史的分野ともに正答率は高かった。地図や図から読み取れるものを問う問題は、極端に正答率が低かった。	・日頃から基本的な事項について繰り返し理解させるとともに、授業の中で地図や図を見て解ること、気づくことを発表させる機会を増やすようにする。
数学	50.1%	53.8%	・道のり・速さ・時間の関係に代表されるように、条件を読み取って式で表現する力が不足している。	・問題文を一人一人がしっかり読む時間、考え方を発表する時間を確保して、理解を深めさせる。
理科	48.4%	52.2%	・気体や液体などの化学分野や光の屈折の原理や力などの物理分野や、岩石などの地学分野など、性質や種類などの違いを整理して理解ができていない。また、いくつかの特徴を比較したり関連づけたりして考える力が不足している。	・科学の原理を楽しく理解させることにより、性質の違いを理解させていく。それらの知識の習得は継続的なドリル形式で楽しく習得させていく。そしていくつかの特徴を関連づけて考え、説明できる力をつけていく。
英語	51.2%	54.7%	・会話文や表の中から必要な情報を正確に取り出す力や、情報を比較・関連づけて読み取る力、様々な条件を結び付けて推論する力が不足している。	・文章の中から、必要な情報を正確に取り出す練習を繰り返し行っていく。また、資料について少人数で話し合う時間を設けることで、比較・関連づける力、推論する力をつけていく。